

創立明治6年 たがやせ 心と 体と 未来を



矢切小だより

令和4年6月30日
学校だより No.4
松戸市立矢切小学校
校長 藤崎 裕二

矢切小ホームページ <http://www.matsudo.ed.jp/~yakiri-e/>



6月の下旬からようやく晴れの日が続くようになりました。水泳学習で「プールに入れて嬉しい」と、にこやかな表情が見られます。校庭には、3年生の育てているミニトマトの実が赤くなり、1年生の育てているアサガオの花が咲き始めました。

6月11日には、運動会未実施種目を開催することができました。競技や応援を真剣に取り組む子供たちの姿を見ることができました。保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

6月21日には協力農家の方の指導の下、5年生は田んぼの土ふみを行いました。根切りをすることで、稲が再び根を張り丈夫になります。子供たちは田んぼの中に入り、稲と稲の間の

土を一步一步しっかり踏んでいきました。田んぼには、カエルやザリガニなどがいて、捕まえる体験も楽しみました。

6月23日には、年に一度の芸術鑑賞教室がありました。今年は、「AUN J クラシックオーケストラ」の方の篠笛や尺八、琴、太鼓、三味線を使った和楽器の演奏を鑑賞しました。本校では、秋の収穫祭で、和の楽器を聞く機会があるので、親しみをもって聞くことができました。子供たちに馴染みのジブリの曲を聴いたり、リズムに合わせて手拍子をしたり、太鼓を叩く活動をしたりと、子供たちは眼を輝かせて参加しました。



6月の中旬からは、協力農家の方の指導の下、野菜の収穫も行いました。6月の初旬に矢切地域に雹（ひょう）が降り、野菜への被害が心配されましたが、幸いに本校の畑では、葉に少々穴が開く程度でした。5年生はキュウリ、6年生はジャガイモ、4年生はトウモロコシを収穫しました。畑で育てている野菜を実際に収穫する喜びを、どの児童も味わっています。体験活動を通して心豊かに学んでいます。今後とも「矢切っ子」のためにご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

保護者の皆様には4月から6月まで感染症対策として、毎日の健康観察や検温をしていただきありがとうございました。この1学期は、子供たちにとって充実した教育活動を行うことができました。ご理解ご協力いただき感謝申しあげます。

あと3週間で、夏休みが始まります。42日間と長い夏休みになります。子供たちだけで過ごす時間や自由な時間が増えるとともに、危険なことも多くなります。学校からの便りをもとに、「自分の命を守ること」について、ご家庭でも十分話し合って、約束事を決めて安全な夏休みを過ごしてほしいと思います。



今月の話

「ごみをまたがない」年間生活目標の「場を清める」につながります。大リーガーの大谷翔平選手は、進んでごみを拾っています。ごみを拾うことは、「幸運、つまりよい運を拾うこと」と考えて実践しています。ごみを進んで拾い、自分の心も磨いて、きれいな矢切小にしたいものです。